

# — 上智大学 —

2月7日 法・経済・外国語(英)学部 英語

## 解答

1

(1) (b)      (2) (a)      (3) (c)      (4) (c)      (5) (d)  
(6) (a)      (7) (b)      (8) (c)      (9) (a)      (10) (b)

2

(11) (c)      (12) (a)      (13) (b)      (14) (b)      (15) (d)  
(16) (d)      (17) (b)      (18) (c)      (19) (a)      (20) (d)

3

(21) (d)      (22) (c)      (23) (b)      (24) (c)      (25) (a)  
(26) (b)      (27) (c)      (28) (a)      (29) (d)      (30) (b)

4

(31) (b)      (32) (d)      (33) (a)      (34) (b)      (35) (a)  
(36) (c)      (37) (c)      (38) (b)      (39) (b)      (40) (a)

5

(41) (a)      (42) (c)      (43) (b)      (44) (a)      (45) (a)  
(46) (c)      (47) (d)      (48) (c)      (49) (a)      (50) (b)

6

(51) (c)      (52) (d)      (53) (c)      (54) (b)      (55) (a)  
(56) (b)      (57) (d)      (58) (b)      (59) (a)      (60) (d)

7

(61) (c)      (62) (c)      (63) (a)      (64) (c)      (65) (c)  
(66) (d)      (67) (b)      (68) (a)      (69) (a)      (70) (a)

8

(71) (b)      (72) (e)      (73) (a)      (74) (f)      (75) (c)

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

## 解説

1

進学に関して経済的な問題を抱えている生徒が相談する話。内容は読みやすく、設問も平易なものが大半を占める。

(1)、(2)

独力で2つ目の大学に行きたいが、そうすると親にお金を支払わせることになり、申し訳ないと考えていることが掴めればよい。

(3) 「18歳がこんなに自覚をもっているなんて普通ではない」とすればいいので(c)が正解。直前の **this** は副詞の **this** で「こんなに」という程度の意味。

(4) 両親に経済的な支援をしてもらうことに、「罪の意識を感じるのではなく」とすれば意味が通るので、(c)が正解。

(5) 「借金を積み上げることなく」となるので(d)が正解。

(6) 「あなたは将来を不安に思っている」とすればいいので(a)が正解。

(7) 直後の文に(最初の)1年を考えるようアドバイスをしているのだから、「4年間という点から計画をたてるのではなく」となる(b)が正解。

(8) ここは未来の話をしている点を抑える。選択肢(c)以外はその意味にならない。助動詞の過去形は過去を示さないというのは受験生としては基礎知識の1つ。

(9) 「お金とは無関係に、豊かな人間関係を築けるでしょう」となるので(a)が正解。

(10) 正解は(b)で、**no matter what** で「何があっても」の意味になる。

2

『リゾーリ&アイルズ』というテレビドラマシリーズからの出題。一応状況説明は書いてあるが、タイトルを見れば「シーズン3」からの出題とわかる。それまでの話の流れがわからないので、難しいと判断したら後回しにしてもいい。一般的な受験生には苦手な出題パターンだが、他の設問の難易度を考慮すると合否に影響を与える問題といえそうだ。

(11) 「生物学が彼を彼女の父親にしたわけではない」というのは、「遺伝だけで父親の役割を担えるわけではない」という程度の意味。前後の文脈というよりは下線部そのものの解釈を訊いている設問で正解は(c)になる。消去法を利用すれば問題はないだろう。

- (12) 「私はこんな風にドイルを取り押さえることになるとは思わなかった」といっているのが、殺害してしまったのは予定外のことだったとわかる。よって、「取り押さえる」という本来の意図は銃殺してしまうのではなく、逮捕することだったと考えられるので(a)が正解になる。
- (13) 直後にモーラが「自分を(車で)轢こうとした」とあるので(b)とわかる。(a)は the suspect ではなくドイルに関する説明なので不可、(d)は病院にいるという記述と矛盾する。
- (14) 「私たちは統制できていた」という意味なので(b)、ここは handle の意味を問う語彙問題といったところ。
- (15) 直後のジェーン・リゾーリのセリフの中の He's a federal agent が根拠で(d)が正解。
- (16) Dean に関しては政府のエージェントとあるだけで、それ以外は銃で撃たれたという記述しかない。よって、具体的な行動理由はわからないので消去法で「任務を遂行していた」とある(d)を正解だと判断する。(b)がやや迷うかもしれないが、明確な記述がないので不適、他の2つは問題なく落とせる選択肢だろう。
- (17) 「Paddy がその気だったら、Dean は死んでいるわ」という意味であることを読みとろう。つまり、やろうと思えば殺していたとあるので、実際にはその気はなかったということ。だから脚を狙ったという風に理解したい。
- (18) 直後の kill people との並列を考えれば、「人を罰する(=この場合は殺める)といった権力は行使しない」という意味を読み取ることができる。よって(c)が正解。
- (19) 解答はなんとなく予想できるが、はっきり書いているわけでもないので消去法を利用する。(b)のように夕食に連れていってくれる人が発砲することはないので不適、(c)の「逃亡する」も全く読み取れない、(d)の the suspect に発砲したとあるだけで誘拐するという部分は読み取れないので不適。
- (20) 親友の父親を仕事のためとはいえ殺害してしまったことを受けて、「彼女にやらせるべきではなかった」と後悔していることを読み取る。直前の文の make up は「仲直りをする」という意味なので、それに対するネガティブな返答であると考えれば(d)が適切と判断できる。

## 3

ハワイの習慣について論じた英文。文章は平易で設問も難しいものは特に含まれていない。短時間で高得点をとることが要求される。

- (21) surprised とあるので、第1段落の the friendly happenings のことだと考えれば消去法で(d)だと判断できる。
- (22) これも the friendly happenings のことなので(c)が正解だが、最初の段落で判断しにくければ後回しにしてもよい。本文全体を読んだ後なら解答に迷うことはないはずだ。

- (23) 第3段落の第2文目に、文字通りの解釈ではなくとも正当な解釈が複数あると書いてあるので(b)だとわかる。
- (24) 第3段落の第4文に当時のハワイの状況が書いてある。「ベトナム(戦争)や当時の社会情勢に関して争い(=disagreement)があった」とわかるので、(c)が正解。
- (25) 第5段落の第2文が該当する。アロハスピリットはあくまでも行動指針を示す程度のものであることがわかるので、(a)が正解。多少パラフレーズされているが、他の選択肢を落とすことは難なくできると思うので慌てずに解答すること。ここは、設問の順番と本文の順番がずれているので注意。
- (26) 第4段落の第4文の isolated が根拠で(b)が正解。(25)を先に解いた人は、該当段落が前に戻るので注意が必要。
- (27) 第5段落の第4文が根拠で(c)が正解。
- (28) 第6段落の2文目にアロハスピリットの難点が挙げられている。「それは、生活と社会の複雑な部分をすべて無視する」とあることから(a)が正解。調和と人付き合いを重視するあまり、複雑なことから目をそらし、事なかれ主義に陥ってしまう可能性を読み取れていればいい。
- (29) 小問(28)とほとんど同じ内容を問う設問。該当箇所は第6段落の第3文で正解は(d)になる。
- (30) 最終段落の最初の文を読めば(b)が正解だとわかる。

## 4

- 三島由紀夫については作品を読んだことがなくとも、どんな人物くらいかは耳にしたことがある人も多いと思われる。平易な英文に平易な設問なので、背景知識の有無にかかわらず高得点を獲得する必要がある。
- (31) 直前の writers and intellectuals の説明になっていることを考慮すれば、「現代性を意識していた」という(b)が適している。
- (32) 「伝統的な文化と現代性の中の亀裂」と考えればいいので(d)が正解。戦後の知識人はそれまでの日本の価値観と、欧米の価値観の間で揺れ動いていたといった程度の話は文学史などで学習しているはずなので、理解しやすいはずだ。
- (33) 「おばあちゃん」に関する説明なので(a)の aged で問題ない。
- (34) obsession with A「Aに取り憑かれていること」、三島由紀夫の自己破壊衝動や「死」に対する欲動が拵めていれば迷うことはないだろう。
- (35) 「結果的に、何度も生き返る」という直後の文とつながるように考えれば(a)が正解。

- (36) 小問(34)と同じ内容が掴めていればいい。
- (37) 「最終的にハッピーエンドになる」という流れを掴めれば(c)が正解。ここは三島由紀夫の作品の話ではなく、ハンガリーのおとぎ話の文脈であることに注意。
- (38) 小問(37)の作品の結末に満足出来ていないことを掴めていればいい。正解は(b)になる。
- (39) 主語が「破壊衝動」なので、「秩序と美を破壊することを求める」とすれば(b)が正解だとわかる。
- (40) 「怒った竜」とすればいいので(a)が正解。

## 5

上智大学定番の長文型の正誤問題。このパターンの時は見掛け倒しで実際にやってみると正解部分は基礎知識であることが少なくない。本年度は典型的なパターンで、高得点を期待したいところ。ただし、時間を意識しすぎると見落とす可能性があるため、その部分には気をつける必要がある。

- (41) (a) → there is
- (42) (c) → neither person
- (43) (b) → generate
- (44) (a) → the more aligned
- (45) (a) → at a more
- (46) (c) → (someone else's) description
- (47) (d) → were watching
- (48) (c) → the better
- (49) (a) → used
- (50) (b) → has been viewed

6

今度は映画(『テルマ&ルイーズ』)の一場面からの出題で上智大学らしさがでている。**2**と合わせて、英語慣れしているかどうかではっきり差がついてしまう。他の設問の難易度が低いので、結果的に重要な大問だといえる。

- (51) 女性二人が銃を手に強盗に入っているシーンであることが、状況説明と直後の店員のセリフから読み取れるので(c)だとわかる。
- (52) 店員が強盗(と思しき二人組)に、銀行と勘違いしているのではないかと尋ねていることが読み取れていれば(d)だとわかる。
- (53) 直後で Kalamata Olives と名称を答えているので、それを尋ねているものを選べば(c)になる。
- (54) 正解は(b)、We don't have と (but) We do have の対比関係を読み取ること。
- (55) 「それでいい」とルイーズが答えているところで正解は(a)、Those がオリーブを指していることがわかればいい。
- (56) 銀行ではなくレストラン(=デリカテッセン)であることはすでに伝えているので、正解は(b)になる。
- (57)、(58)  
「あなたを撃たなくてはいけない。急いで、5つ数えるうちに」とすれば意味が通るので、それぞれ(d)と(b)が正解。この辺りはうまく状況を掴めていないと苦戦しそう。
- (59) (a)の take the risk「危険を冒す」を知っていれば問題はないはず。
- (60) 直前でテルマが「こんなことしたことない」と言っており、「思った通り、素人2人組だぜ」とすれば意味が通るので(d)が正解。

7

前半と後半で対照的なエピソードが展開する英文。難易度はやや易といったところだが、**1**から順番に解いてきた受験生は集中力を維持できたかどうか勝負どころ。

(61) take it「推測する」=assume

上記の表現を知らなくても文脈から十分に類推できるだろう。

(62) 「たとえモーツァルト水準の耳(のよさ)ではなかったとしても」というのが設問の部分だが、下線部は one of Mozartian standard であり、not は含んでないので気をつけること。正解は(c)になる。

(63) 小説の内容が(音楽的な)家族についての話だとすぐわかるので、(a)か(b)に絞る。さらに下線部は「部分的には自伝的な」という意味なので、自分の実話に少なくとも一部は関わるはずなので(a)のほうが適切だと判断できる。

(64) 第2段落より(c)が正解、これは迷うことはない。こんな家族だと父親の肩身は狭そうだ。

(65) 小説を引用した部分に出て来る登場人物をチェックする。書き出しに①コーデリア、②ママ、③メアリー、④私(=narrator)と主要人物4人が次々と出てくる。しかし、引用はまだまだ続くので解答を急いではいけない。慌てずに、慎重に読み進める。すると最後の最後、⑤パパの登場だ。よって、答えは(c)となる。(b)は一人足りない(パパを忘れて)、(d)は一人多い(ナレーターを含めると4姉妹に?)、(a)は一人重複(Cordelia's sister は Mary か the narrator を指してしまう)しているので不適。

(66) 第3段落の第2文、But 以下の部分に注目すればいい、absolute pitch(絶対音感)は持っているのだけど、良い音楽と悪い音楽を聴き分けることはできず、演奏は母親の期待を満たすものではなかったことがわかるので正解は(d)となる。

(67) The elegant young son ~ develops ~ a passionate desire to be a pianist.と全体の文構造を把握しておくこと。その上での、その息子は「狩りなどの紳士的な生活」を嘱望されていたのに、音楽に情熱を持ってしまったという流れ。その時の家族の心境が下線部の「家族ががっかりしていたことに」という部分で表されている。その内容を掴めていれば、正解は(b)になる。

(68) 「妥協」の内容については下線部を含む文の述語部分に書かれている。ドイツへ修行にいった、帰ってきたらテストを受けるといったもの。当然、そのテストがダメだった場合はピアニストになる夢を諦めるといった意味での家族側の「妥協」である。選択肢は紛らわしくないので、英文の流れが掴めれば(a)を選べるだろう。

(69) 小問(68)の解説を参照。正解は(a)になる。

(70) 正解は(a)、内容的には少し物足りない気もするが、他の選択肢が明らかに本文の内容と矛盾するので問題はないだろう。

8

日本のアニメキャラは目が大きく口が小さいことを考察した英文。最後の大問という気遣いなのか、脱文挿入問題の割りに、紛らわしい選択肢はほとんどなく、十分に完答が狙える。選択肢の数が空所よりも1つ多いので、1箇所間違えたところで大事故も生じない。

(71) 第1段落の **In some parts of the world** に対応させれば(b)だとすぐわかる。

(72) ここは直後の文の **however** を利用すればいい。「目=コントロールしにくい」という図式が続くので、「口=コントロールしやすい」とすれば対照的な内容となる。よって(e)が正解。

(73) 直前の **a person's eyes** が選択肢(a)の **They** に対応すると考えればよい。

(74) 日本人とアメリカ人を比較する実験であることを理解しておくこと。空所直後の **They** は第3文の **The Japanese** とは反対(=**however** がある)なので、アメリカ人とわかる。**They** がアメリカ人をさすには、空所部分にアメリカ人と書いてある必要があるので正解は(f)になる。

(75) 日本人とアメリカ人の違いを、選択肢(c)の **this cultural difference** という言葉でまとめていると考えればよい。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！